

今月の推薦句

山田真砂年

緑蔭や会話戦時へ逆のぼり

今村博子

あした散る気配のなかに蓮の花

北原昭子

子を抱いて踊りを出たり入ったり

上田信隆

冷蔵庫の奥まで覗く旅支度

飛田小馬々

エレベーター乗れば無口や夏帽子

中村晃也

木下闇放水銃の庫を据ゑ

滝代文平

遠雷やぴんぴん尖る犬の耳

山田ゆい子

くたくたの車前草なほも踏まれゐる

大坪正美

甲斐駒を朝に夕べに夏座敷

小見戸実

炎天を来て角打ちの塩昆布

原田白鷗

日覆や八百屋の野菜覗き込み

関口敦子

蛸やひと日終へしと思ふころ

高田峰

十葉の花に抱かれ屋敷墓

永井三枝

結葉の坂に三つ目アパホテル

戸上晶子

昼顔やガードレールに錆浮いて

相澤美佐子

盆用意郷の名菓と地のものも

相馬ゆう子

ボート漕ぐ夫の笑顔を正面に

堀潤子

昼寝覚新聞床に散つてをり

瀧本萌